

(5) 持参物

① 特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編（小学部・中学部）（平成30年）

② 講義資料（印刷したものまたはタブレット端末等にダウンロードしたもの）

※ 今年度より、講義資料の印刷・配付は行わない。別紙「Google Classroom への参加方法」を参照して参加地区のクラスルームに入室し、掲載されている講義資料を印刷またはダウンロードして持参すること。資料は前日の正午までに掲載する。

<Google Classroom クラスコード一覧>

参加地区	クラスコード
県北	bgtliu6 （ビー・ジー・ティー・エル・アイ・ユー・ろく）
県中	nrspto6 （エヌ・アール・エス・ピー・ブイ・オー・ろく）
県南	7t5sgkz （なな・ティー・ご・エス・ジー・ケイ・ゼット）
会津・南会津	gcqwdcp （ジー・シー・キュー・ダブリュー・ディー・シー・ピー）
相双	35dscdf （さん・ご・ディー・エス・シー・ディー・エフ）

※ なお、Google Classroom への参加が難しい場合は、所属長を通じて本センター研修主任へ連絡すること。

II 地区別研修

(1) 実施期日・会場

- 【県北】 期日：令和6年10月22日（火）
会場：安達公民館
〒969-1404 二本松市油井字濡石3
電話 0243-23-3721
- 【県中】 期日：令和6年10月23日（水）
会場：福島県特別支援教育センター 【※上履き持参】
〒963-8041 郡山市富田町字上ノ台4-1
電話 024-952-6497
- 【県南】 期日：令和6年10月15日（火）
会場：白河合同庁舎
〒961-0971 白河市字昭和町269番地
電話 0248-23-1525
- 【会津・南会津】 期日：令和6年10月17日（木）
会場 道の駅あいづ湯川・会津坂下
〒969-3555 河沼郡湯川村大字佐野目字五丁ノ目78-1
電話 0241-27-8853
- 【相双】 期日：令和6年10月25日（金）
会場：かしま交流センター
〒979-2442 南相馬市鹿島区横手字川原186-1
電話 0244-46-5117

(2) 受講対象者

共通研修と同様。ただし、郡山市の教員、通級指導教室担当の教員は除く。

※ 通級指導教室担当教員は、7月9日（火）に実施する「職能研修 通級指導教室担当教員研修会」を受講する。

(3) 日程及び内容等

9:15 9:30 9:45 11:00 11:15 12:25 13:25 14:10 14:20 15:45 16:00 16:15

受付	開会式	講義1 「特別支援学級の教育課程」	休憩	講義2・演習 「自立活動の指導～実態把握と個別の指導計画の作成～」	昼食・休憩	実践発表 「特別支援学級の学級経営」 ※小・中学校特別支援学級担当教諭	休憩	協議 「交流及び共同学習の充実に向けて」	まとめ	閉会式
----	-----	----------------------	----	--------------------------------------	-------	---	----	-------------------------	-----	-----

- ① 講義1「特別支援学級の教育課程」 福島県特別支援教育センター 指導主事
- ② 講義2・演習「自立活動の指導～実態把握と個別の指導計画の作成～」
福島県特別支援教育センター 指導主事
- ③ 実践発表「特別支援学級の学級経営」 各地区特別支援学級担当教諭
- ④ 協議「交流及び共同学習の充実に向けて」 福島県特別支援教育センター 指導主事

(4) 持参物

- ① 特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編（小学部・中学部）（平成30年）
- ② 自校の教育課程（特別支援学級の「編成届」）※2部持参（1部提出）
- ③ 講義資料（印刷したものまたはタブレット端末等にダウンロードしたもの）
※ 今年度より、講義資料の印刷・配付は行わない。別紙「Google Classroom への参加方法」を参照して参加地区のクラスルームに入室し、掲載されている講義資料を印刷またはダウンロードして持参すること。資料は前日の正午までに掲載する。

<Google Classroom クラスコード一覧>

参加地区	クラスコード
県北	bgtliu6 (ビー・ジー・ティー・エル・アイ・ユー・ろく)
県中	nrsppo6 (エヌ・アール・エス・ピー・ブイ・オー・ろく)
県南	7t5sgkz (なな・ティー・ご・エス・ジー・ケイ・ゼット)
会津・南会津	gcqwdcp (ジー・シー・キュー・ダブリュー・ディー・シー・ピー)
相双	35dscdf (さん・ご・ディー・エス・シー・ディー・エフ)

※ **参加地区の講義資料**を印刷・ダウンロードすること。(例：県南地区の教員が、やむを得ず県北地区の研修会に参加する場合 → 県北地区の資料を印刷・ダウンロード)

(5) 事前提出資料について

協議用資料「交流及び共同学習の実際」（別紙様式2）を作成し、別紙「Google Classroom への参加方法」を参照して、**参加地区**の Google Classroom に提出すること。

なお、Google Classroom での提出が難しい場合は、所属長を通じて本センター研修主任へ連絡すること。

○ ファイル名	新担研地区別 【○○学校】 氏名
○ 提出期限	令和6年10月1日（火）まで

4 校外における研修（共通研修、地区別研修）についての留意事項

(1) 本研修について

- ① 本研修は、指定研修旅費の対象となる。
- ② 諸事情により他地区で受講を希望する場合には、所属長を通じて市町村教育委員会に連絡すること。当該市町村教育委員会と教育事務所、福島県特別支援教育センターが協議し決定する

ものとする。

- ③ 受講に際し合理的配慮の提供を希望する場合は、「研修における配慮申請書（様式3）」（本センターWebサイトでダウンロード）を受講日の一ヶ月前までに本センターへ提出すること。

(2) 参加者の欠席

- ① 参加者が欠席する場合は、事前に所属長から当該市町村教育委員会、教育事務所を経由して福島県特別支援教育センター所長宛に「受講に関する変更について」（様式2-1）を提出すること。
- ② 研修会当日及びその数日前（事前に「受講に関する変更について」を提出する余裕がない程度）に欠席する事由が発生した場合は、所属長から当該市町村教育委員会、教育事務所を経由して福島県特別支援教育センターにその旨を連絡し、後日、「受講に関する変更について」（様式2-1）を提出すること。

(3) 研修にあたって

本センターWebサイトに掲載されている「研修にあたって」「駐車場案内」を参照のこと。

5 校内における研修

- (1) 期間は、令和6年5月～12月のうち、各所属長が選定した任意の2日間。
- (2) 対象者は共通研修と同様である。ただし、郡山市の教員、通級指導教室担当の教員は除く。
- (3) 助言者は、所属校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭とする。
- (4) 研修内容については、下記に示すものを中心に学校等の実態に応じて変更または追加などして行う。

【校内における研修内容（例）】

- ・ 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用
- ・ 学習上又は生活上の困難さに応じた指導・支援の充実
- ・ 学習指導案の作成と授業研究
- ・ 心のバリアフリー教育と交流及び共同学習の推進
- ・ 保護者や関係機関との連携による指導・支援の充実
- ・ 個別の指導計画の見直しと教育課程の編成

など

- (5) 実施後は、実施報告書（別紙様式1）を3部作成し、市町村教育委員会教育長に提出する。

提出者	提出先	提出期限	提出部数	提出書類
実施校校長	市町村教育委員会 教育長	令和7年1月24日（金）	3部	実施報告書
市町村教育委員会 教育長	教育事務所長	令和7年1月31日（金）	2部	実施報告書
教育事務所長	福島県特別支援教育センター所長	令和7年2月7日（金）	1部	実施報告書

別紙様式1

令和6年度 特別支援学級等新任担当教員研修会（校内における研修）実施報告書

令和5年度より**公印不要**となりました。提出方法は実施要項のとおりです。

学 校 名 _____
校 長 氏 名 _____
対 象 者 氏 名 _____

第1日	令和 年 月 日 ()	助言者の職・氏名、指導助言の内容
研修内容		<p>助言者は所属校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭とする。 (教育委員会指導主事等は不可)</p>
第2日	令和 年 月 日 ()	助言者の職・氏名、指導助言の内容
研修内容		
成果と課題	<p>成果と課題は校長が記入する。 (対象教諭の自己評価とならないようにする)</p>	

「交流及び共同学習の実際」協議資料 (※該当する箇所は、□⇒■に変更してください)

学校名	立	学校	氏名			
担当する学級	<input type="checkbox"/> 知的障がい <input type="checkbox"/> 自閉症・情緒障がい <input type="checkbox"/> その他 ()					
担当する学級の児童生徒数	小1 ()	小2 ()	小3 ()	小4 ()	小5 ()	小6 ()
※ (人数)	中1 ()	中2 ()	中3 ()			
<p>1. 事例とする児童生徒の学年【 】※1人の子どもの事例を取り上げてください。</p>						
<p>2. 「交流及び共同学習（通常の学級と特別支援学級）」を行っている教科等がある場合は、実際に交流及び共同学習を行う時数を () に記入してください。</p> <p>国語科 () 社会科 () 算数科・ 数学科 () 理科 () 生活科 ()</p> <p>音楽科 () 図画工作科・ 美術科 () 体育科・ 保健体育科 () 技術・家庭科 ()</p> <p>外国語活動・ 外国語科 () 総合的な学習の 時間 () 道徳科 () 特別活動 () <input type="checkbox"/>特になし</p>						
<p>3. 「交流及び共同学習」を行っている児童生徒の様子について ※学習内容の理解度や学習への意欲、参加状況等を記入してください。</p> <p>○</p>						
<p>4. 「交流及び共同学習」を行っている教師間の連携について ※通常の学級の担任・教科担任と特別支援学級の担任との間で、情報共有はどのように行っていますか。</p> <p>○</p>						
<p>5. 「交流及び共同学習」の充実のためには、どのようなことに取り組む必要があると考えますか。</p> <p>○</p>						

※ 令和 6 年 10 月 1 日 (火) までに、Google Classroom にて特別支援教育センターへ提出する。